

主要災害調査

第五十五号

平成30年北海道胆振東部地震調査報告

防災科学技術研究所

# 平成30年北海道胆振東部地震調査報告

## Research Report on Disaster Caused by the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake



## 防災科学技術研究所主要災害調査

- 第 50 号 平成 25 年台風第 26 号による伊豆大島の豪雨災害に関する調査報告（平成 28 年 3 月発行）
- 1) 2013 年 10 月伊豆大島豪雨災害の概要－被害とタイムライン－ 1-18.
  - 2) 2013 年台風 26 号に伴う伊豆大島の大雨－レーダーで観測された降雨の特徴について－ 19-34.
  - 3) 災害事例データベースを活用した伊豆大島の過去の災害履歴－1684 年～1997 年の風水害、斜面災害事例－35-52.
  - 4) 2013 年 10 月 16 日伊豆大島土砂災害の地学的背景 53-62.
  - 5) 平成 25 年台風 26 号伊豆大島災害において高校生が利用した防災情報とコミュニケーションツール 63-72.
- 第 51 号 平成 27 年関東・東北豪雨調査報告（平成 30 年 2 月発行）
- 1) 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨におけるメソスケール対流系の特徴および常総市の浸水深調査の結果について 1-10.
  - 2) 平成 27 (2015) 年 9 月関東・東北豪雨における栃木県内の土砂移動分布図の作成といくつかの斜面変動箇所  
の現地調査結果－特に、関東ロームと花崗岩類斜面における崩壊地の土層物性・安定性と土石流到達閾値について－ 11-41.
  - 3) 災害初期タイムラインにおける災害対応地図の作成と提供－被害状況の把握のための迅速な航空写真地図化技術の開発－ 43-61.
  - 4) 平成 27 年関東・東北豪雨における災害情報マップの構築と情報更新－常総市役所における災害対応支援を事例に－ 63-72.
  - 5) 常総市安全安心課・情報政策課の災害対応に関するヒアリング調査 73-78.
  - 6) 災害対応機関における情報共有・利活用の成果と課題－平成 27 年 9 月関東・東北豪雨における常総市での活動を事例に－ 79-86.
  - 7) 災害ボランティアセンターでの情報運用を支援するツールの検証－茨城県常総市の事例－ 87-92.
  - 8) 災害時の要配慮者の支援に必要な情報の利活用－平成 27 年関東・東北豪雨における茨城県常総市の事例－93-100.
  - 9) 常総水害における災害広報の実態と課題 101-107.
  - 10) 常総市災害ボランティアセンターにおける本部機能の空間配置について 109-114.
  - 11) 防災コンテスト参加団体の常総水害時の対応 115-120.
- 第 52 号 平成 29 年 7 月九州北部豪雨調査報告（平成 30 年 9 月発行）
- 1) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨に関する気象学的な速報解析 1-7.
  - 2) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨における土砂移動分布図の作成 9-20.
  - 3) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨に関する被害・対応状況の整理とタイムライン作成 21-31.
  - 4) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨に対する防災科研の災害対応の目的 33-34.
  - 5) 防災科研クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)の構築と運用－平成 29 年 7 月九州北部豪雨を事例に－ 35-46.
  - 6) 災害対応における防災科学技術研究所の情報支援体制の実態と課題－2017 年 7 月九州北部豪雨の例－ 47-54.
  - 7) 福岡県庁内における情報支援活動－平成 29 年 7 月九州北部豪雨における取り組みを事例に－ 55-71.
  - 8) 大分県災害対策本部における情報支援活動 73-80.
  - 9) 被災自治体に対する遠隔支援への移行 81-86.
  - 10) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨による斜面災害の現地調査報告 87-102.
  - 11) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨に伴う地盤災害被害について 103-112.
  - 12) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨における朝倉市災害ボランティアセンターの運営実態 113-120.
  - 13) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨に対する福祉施設の避難行動と防災意識の調査－朝倉市の福祉施設へのヒアリング調査の速報－ 121-133.
- 第 53 号 平成 30 年 7 月豪雨調査報告（令和 2 年 3 月発行）
- 1) 平成 30 年 7 月豪雨における被害の概要 1-32.
  - 2) 平成 30 年 7 月豪雨の際にみられたトラフの出現頻度に関する考察 33-38.
  - 3) 平成 30 年 7 月豪雨時に発生した線状降水帯と大雨特別警報発表の時間的關係 39-48.
  - 4) 平成 30 年 7 月豪雨における国土交通省 XRAIN による積算雨量 49-58.
  - 5) 平成 30 年 7 月豪雨における降雨の再現期間と災害発生の関係 59-66.
  - 6) 平成 30 年 7 月豪雨により愛媛県南西部で発生した斜面崩壊の規模と分布の特徴 67-82.

- 7) 平成 30 年 7 月豪雨による土砂災害発生の推定時刻における土壌雨量指数 83-90.
- 8) 平成 30 年 7 月豪雨における防災科研の情報支援体制 91-95.
- 9) 平成 30 年 7 月豪雨 広島県庁における情報支援活動 97-110.
- 10) 岡山県庁災害対策本部における情報支援活動の実践と課題－平成 30 年 7 月豪雨を対象として－ 111-122.
- 11) 愛媛県災害対策本部における情報支援活動 123-131.
- 12) 平成 30 年 7 月豪雨における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用 133-146.
- 13) 平成 30 年 7 月豪雨(西日本豪雨)における複数都道府県に及ぶ断水・給水・入浴支援情報の地図化活動 147-154.
- 14) 平成 30 年 7 月豪雨における岡山県倉敷市の消防機関の初動対応および真備町の浸水状況について 155-168.
- 15) 効果的な災害復旧と被災者支援を目指した情報支援の事例報告－平成 30 年 7 月豪雨災害における災害ボランティアセンターおよび社会福祉協議会に対する支援事例－ 169-174.
- 16) 災害対応の初期フェイズにおける無人航空機の活用 - 平成 30 年 7 月豪雨における広島県での捜索支援地図の作成事例 - 175-189.

第 54 号 平成 30 年大阪府北部の地震調査報告（令和 2 年 3 月発行）

- 1) 2018 年 6 月 18 日大阪府北部の地震 1-6.
- 2) 大阪府北部を震源とする地震における情報支援活動－災害時情報集約支援チーム (ISUT) として初の派遣事例－ 7-15.
- 3) 大阪府北部を震源とする地震対応における情報支援のマネジメント体制－防災科学技術研究所総合防災情報センターの体制－ 17-22.
- 4) 平成 30 年(2018 年)大阪府北部を震源とする地震における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用 23-30.
- 5) 平成 30 年 6 月大阪府北部地震における社会福祉協議会の情報プラットフォーム活用状況調査－災害情報を利活用した効果的な被災者支援の実現に向けて－ 31-36.

－編集委員会－		主要災害調査 第 55 号	
(委員長)	浅野 陽一	令和 2 年 3 月 16 日 発行	
(委員)		編集兼	国立研究開発法人
三輪 学央	加藤 亮平	発行者	防災科学技術研究所
河合 伸一	三浦 伸也		〒 305-0006
山崎 文雄	平島 寛行		茨城県つくば市天王台 3－1
中村 いずみ	市橋 歩		電話 (029)863-7635
(事務局)			http://www.bosai.go.jp/
三浦 伸也	前田 佐知子	印刷所	松 枝 印 刷 株 式 会 社
池田 千春			茨城県常総市水海道天満町 2438
(編集・校正)	樋山 信子		

© National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience 2020

表紙写真・・・幌里地区の路肩崩壊と斜面災害(撮影：2018 年 9 月 15 日，北海道厚真町幌里)。  
(表紙写真・口絵担当：鈴木比奈子)

※防災科学技術研究所の刊物については、ホームページ (<http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/>) をご覧下さい。

# CONTENTS

主要災害調査 55 号

## 平成 30 年北海道胆振東部地震調査報告

Natural Disaster Research Report: No.55  
Research Report on Disaster Caused by the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake

- 防災科学技術研究所陸海統合地震津波火山観測網(MOWLAS)が捉えた平成 30 年北海道胆振東部地震  
—観測記録・解析結果・臨時観測—

The 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake Observed by NIED MOWLAS  
- Seismograms, analysis, and temporal observation -

松原 誠・田中佐千子・鈴木 亘・ヤノエリザベストモコ・上野友岳・木村武志  
Makoto MATSUBARA, Sachiko TANAKA, Wataru SUZUKI, Tomoko Elizabeth YANO,  
Tomotake UENO, and Takeshi KIMURA

1

- 平成 30 年北海道胆振東部地震における情報支援活動

Information Support Activities on the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake

佐藤良太・佐野浩彬・吉森和城・清原光浩・平 春・日高達也・水井良暢・  
崔 青林・取出新吾・李 泰榮・伊勢 正・花島誠人・田口 仁・白田裕一郎

Ryota SATO, Hiroaki SANNO, Kazuhiro YOSHIMORI, Mitsuhiro KIYOHARA, Ping CHUN,  
Tatsuya HIDAKA, Yoshinobu MIZUI, Qinglin CUI, Shingo TORIDE, Taiyoung YI, Tadashi ISE,  
Makoto HANASHIMA, Hitoshi TAGUCHI, and Yuichiro USUDA

17

- 平成 30 年北海道胆振東部地震における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用

Construction and Investment of NIED-Crisis Response Site (NIED-CRS)  
in the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake

佐野浩彬・吉森和城・佐藤良太・奈倉 登・鈴木比奈子・清原光浩・半田信之・  
磯野 猛・池田真幸・平 春・花島誠人・田口 仁・取出新吾・白田裕一郎

Hiroaki SANNO, Kazuhiro YOSHIMORI, Ryota SATO, Noboru NAKURA, Hinako SUZUKI,  
Mitsuhiro KIYOHARA, Nobuyuki HANDA, Takeshi ISONO, Masaki IKEDA, Chun PING,  
Makoto HANASHIMA, Hitoshi TAGUCHI, Shingo TORIDE, and Yuichiro USUDA

47

- 平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震における被災状況と情報支援活動の現地調査,  
および調査写真の Web-GIS 登録手法の検討

Damaged Situation Confirmation Survey and Information Support Activities  
in Hokkaido Iburi Earthquake in September 2018

水井良暢・池田真幸・李 泰榮・島崎 敢・清原光浩・吉森和城・崔 青林・青井 真・藤原広行  
Yoshinobu MIZUI, Masaki IKEDA, Tai-young YI, Kan SHIMAZAKI, Mitsuhiro KIYOHARA,  
Kazuhiro YOSHIMORI, Qinglin CUI, Shin AOI, and Hiroyuki FUJIWARA

59